お願いとご注意

— 重要なお知らせ —

SoftBank 001HT

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

■ソフトバンクモバイルお客さまセンター

総合案内	紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から 157（無料）	ソフトバンク携帯電話から 113（無料）
一般電話から (フリーコール) 0800-919-0157（無料）	一般電話から (フリーコール) 0088-240-113（無料）

IP 電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）	東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）	中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

■スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら	
ソフトバンク携帯電話から 151（無料）	一般電話から (フリーコール) 0800-1700-151（無料）

■ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。
+81-3-5351-3491（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）

2010年11月　第1版発行　ソフトバンクモバイル株式会社
製造元:HTC Corporation

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

001HTを使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。
また、お読みになったあとは本書を大切に保管してください。

⚠危険　こんな使いかたはやめましょう

001HTをご利用になるときに、誤った使いかたをすると、けがや故障の原因となります。

分解・改造
分解や改造をしないでください。

水ぬれ
ぬれた手のまま使用したり、水がかかる場所で使用しないでください。

外部接続端子の接触禁止
外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。

指定品以外の使用
001HTに使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

加熱の禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に001HTや電池パックを入れて加熱しないでください。

運転中
自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

このようなときは必ず電源を切りましょう！

● **航空機内**
航空機内での使用は罰せられることがあります。001HTの電源をお切りください。

● **運転中**
自動車運転中のご使用は法律で禁止されています。001HTの電源をお切りください。

● **病院内**
病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

● **満員電車など**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性があります。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがありますので、001HTの電源をお切りください。

● **映画館・劇場・美術館など公共の場所**
静かにすべき公共の場所で001HTを使用すると、周囲の方への迷惑になります。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード
電話がかかってきたり、ボタン操作をしても、001HTから音が出ないようにします。

留守番電話サービス
電話に出られないときに、かけてきた相手の用件を留守番電話サービスセンターに録音します。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種001HTの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。この携帯電話機001HTも財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは1.42W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

*ボディ(身体)SARとは:携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR)のことです。
**比吸収率(SAR):6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ソフトバンクでは、ボディSARに関する技術基準として、欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
***身体装着の場合:一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのWebサイトからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は、0.836W/kgです。
身体装着の場合：本機では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のWebサイトを参照してください。

Cellular Telecommunication & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本機は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.96W/kg※です。
SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のWebサイトをご参照ください。

http://www.who.int/emf(英文のみ)
※ 身体に装着した場合の測定試験はFCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

知的財産権について

■ 著作権について

音楽、静止画、動画、コンピュータ・プログラム、データベースなどは、その著作物および著作権者の権利が著作権法により保護されています。このような著作物の複製は、個人的にまたは家庭内での使用を目的とした場合のみ行うことができます。上記以外の目的で、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰の対象となることがあります。本製品を使用して複製などを行うときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■ 肖像権について

- お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

■ 商標について

- S! メール、3G HighSpeedはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- microSD™とそのロゴ、microSDHC™とそのロゴは、SDアソシエーションの商標です。
- Bluetoothは米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における
- 登録商標または商標です。
- Microsoft、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- 「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ その他

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされています。これは、お客様の個人的かつ非営利目的において次のような用途に限ってライセンスされており、その他の用途については認められていません。
  - ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動において、消費者によって記録されたMPEG-4ビデオの再生
  - ・MPEG-LAからライセンスされた提供者によるMPEG-4ビデオの再生
  - ・詳細な情報については、米国法人MPEG LA. LLCまでお問い合わせください。
- Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
  Google、および Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケット および Android マーケットロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、Google Apps、Google Calendar、Google Checkout、Google Earth および Google Earth ロゴ、Google Latitude、Google マップ および Google マップ ロゴ、Google バズ および Google バズ ロゴ、Google トーク および Google トーク ロゴ、Picasa および Picasa ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google 音声検索 および Google 音声検索ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

お願いとご注意

■ ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機やメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話や通信が困難になることがあります。また、通話中に電波状態が悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。電波法に基づく検査を受けていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音の発生などの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 傍受にご注意ください。
  本機はデジタル信号を利用しているため、傍受されにくくなっていますが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法によって第三者が故意に傍受するようなこともまったくないとは限りません。
  この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
  ・傍受（ぼうじゅ）とは無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ 自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したとき、自動車の車種によっては、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。

■ 航空機の機内でのご使用について

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
- 航空機内では原則的に本機の電源をお切りください。本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となりますが、ご使用については乗務員にご確認ください。

■ お取り扱いについて

- 本機は防水仕様でありません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  - ・雨の日は、バッグの外側のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - ・エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ・洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れたまま身体をかがめると、洗面所に落としたり、水にぬらしたりする原因となります。
  - ・海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり、直射日光が当たったりしないように、バッグなどに入れてください。
  - ・汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に入り、故障の原因となることがあります。
- 本機の電池パックを長い間外したままにしていたり、電池残量のない状態で放置したりしていると、お客様が本機に登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、内容の消失・変化に関して発生した損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お願いとご注意

- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は、本機や電池パックの温度がやや高くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラのレンズ部分に直射日光を長時間当てると、内部のカラーフィルターが変色し、映像が変色することがありますのでご注意ください。
- 本機を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、本機に印字されている文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のタッチパネルを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- イヤホンをご使用中、音量が大きすぎると音が外にもれることがあります。周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - ・本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ・荷物のつまったバッグなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り出してください。
  - ・充電器を接続して充電しているときは、必ず充電器を取り外し、本機の電源を切ってから取り出してください。
  - ・データを登録している最中や、メールの送受信中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 本機の外部接続端子（USBポート）には、指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損したりすることがあります。
- 電源を入れる前に、USIMカード、SDカード及びカバーを本体にセットしてください。カバーを外した状態では、本機の動作や通話品質に影響を及ぼす場合があります。
- 電源が入ったまま本機からUSIMカードを取り付け／取り外しされますと、電源が切れますのでご注意ください。

■ Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- 本機は、Bluetooth®機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。
  Bluetooth®機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth®機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。
- **周波数帯について**
  本機のBluetooth®機能／ワイヤレスLAN機能が使用する周波数帯は、本機の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
※利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- Bluetooth®機器使用上の注意事項
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（本紙裏表紙）までご連絡ください。
- Bluetooth®機能は日本国内で使用してください。
  本機のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

■ ワイヤレスLAN（WLAN）についてのお願い

- ワイヤレスLANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、お問い合わせ先（本書裏表紙）までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ先（本書裏表紙）までお問い合わせください。
- ワイヤレスLAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。
  本機のワイヤレスLAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合といった原因によって、通話や通信が困難となり、お客様、または第三者が損害を受けられたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[*1]を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[*1]を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷[*2]を負う可能性が想定される場合および物的損害[*3]のみの発生が想定される」内容です。

*1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
*2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

- 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	内容	記号	内容
(禁止)	禁止（してはいけないこと）を示します。	(ぬれ手禁止)	ぬれた手で扱ってはいけないことを示します。
(分解禁止)	分解してはいけないことを示します。	(指示)	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
(水ぬれ禁止)	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを示します。	(プラグを抜く)	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、マイクロフォン付きイヤホン、microUSBケーブル、メモリカード（試供品）、充電器の取り扱いについて（共通）

⚠危険

記号	内容
(指示)	**本機に使用する電池パックおよび充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用する** 指定以外のものを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火などによって、本機や電池パック、その他の機器の故障の原因となります。
(分解禁止)	**分解や改造をしない** 絶対に分解や改造をしないでください。けがや感電などの傷害や火災が発生する恐れがあります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。 本体内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
(水ぬれ禁止)	**水にぬらさない** 水につけたり、水をかけたりしないでください。水や海水、ペットの尿などの液体が機器の本体に入ると、発熱・感電・火災などの発生により故障やけがの原因となります。また、電池パックの破損や性能の劣化、寿命の低下を引き起こす原因となります。
(禁止)	**本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。** 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
(禁止)	**高温になる場所で使用したり放置したりしない** 火のそばやストーブのそば、直射日光の強い所、炎天下の車内など、高温になる場所での使用や放置は避けてください。本機の変形や故障、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火の発生、および性能の劣化や寿命の低下の原因となります。また、電池カバーの一部が高温となり、やけどの原因となることがあります。

⚠ 警告

水などの入った容器を近くに置かない
近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。液体がこぼれて本機にかかったり、液体が本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パックや本機、充電器、USIMカードを入れない
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火、および本機や充電器の発熱・発煙・発火の恐れがあり、回路部品を破壊する原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管する
乳幼児が飲み込んだりする事故の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火物がある場所では使用しない
ガソリンスタンドなど、引火ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にソフトバンク携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、落とすなどして、破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

内部に異物などが入ったときは
本機の電源を切って電池パックを取り外した後、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜いて、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら
使用中や充電中、または保管しているときに、異臭・発熱・変色・変形などの異常に気づいたときは、直ちに次のような処置をとってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. 電池パックを本機から取り外してください。
4. ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、発熱・破裂・発火の恐れや、電池パックの漏液の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所には置かない
落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しない
故障の原因となります。

冷気が直接吹きつける場所に長時間放置しない
露が付き、漏電・焼損の原因となることがあります。

極端に寒い場所に長時間放置しない
故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について
・海辺や砂地など内部に砂の入りやすい場所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
・磁気カードなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消失することがあります。

お子さまが本機を使用する場合は、保護者から取り扱いの内容を教える
使用中においても、指示どおりに使用しているかどうかをご注意ください。けがなどの原因となります。

USIMカードの取り外し／取り付けについて
手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。

電池パックの取り扱いについて

⚠ 危険

電池パックのラベルに電池の種類が記載されています。お使いの電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守る
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。
・釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
・外傷・変形の著しい電池パックは使用しないでください。
・電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。

火の中に投下しない
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させたり、端子どうしを接続したりしない
充電用端子に金属製のストラップやボールペンのような筆記用具などを接触させないでください。金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管したりすると、端子に接触する可能性がありますので避けてください。端子に金属製のものが接触すると、電池パックの漏液・発熱・発火・感電の恐れがあり、やけどやけがの原因となります。

電池パック内部の液体が目に入った場合、こすらずにすぐにきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける
そのままにしておくと、失明の恐れがあります。

⚠ 警告

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
電池パックが漏液・発熱・破壊・発火する原因となります。

電池パックから漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用を中止して火気から遠ざける
漏液した液体に引火する恐れがあり、発火・破裂の原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用を中止してきれいな水で洗い流す
皮膚に傷害を引き起こす恐れがあります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱や変色・変形など、今までとは異なる状態に気づいたときには、使用を中止して本機から取り外す
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

⚠ 注意

衝撃を与えたり、投げつけたりしない
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置したりしない
発熱・発火の原因となることがあります。また、電池パックの性能や寿命を低下させる場合があります。

一般のゴミと一緒に捨てない
不要となった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別廃棄している市町村の場合は、その規則に基づいて廃棄してください。

その他
・電池パックの充電は、適正な充電温度範囲内（5℃～ 35℃）の場所以外では行わないでください。
・電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。

本機の取り扱いについて

⚠ 警告

車の運転中に使用しない
運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となり、本機もこれに該当します。また、付属のマイクロフォン付きイヤホンをご利用の場合でも、安全な場所に車を止めてからご使用ください。交通事故の原因となります。

歩行中の使用
歩行中の使用は注意力が散漫になるため周囲にはご注意ください。特に、横断歩道や踏切などでは十分に気を付けてください。

車のダッシュボードの上など、エアバックが開いたときに影響を受けそうな場所に本機を置かない
エアバックが開いたとき、本機がご本人や同乗者に当たる恐れがあり、けがや事故、および故障や破損の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切る
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電子機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

航空機内では、本機の電源を切る
本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
本機を機内モードにすると電波を発する機能はすべて無効となります。

心臓の弱い方は、着信音量やバイブレータ（振動）の設定に気を付ける
大きすぎる着信音や突然の振動は、心臓に悪影響を及ぼす可能性があります。

屋外で使用中、雷が鳴り出したら、直ちに本機の電源を切って安全な場所に移動する
落雷や感電の恐れがあります。

フラッシュライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にフラッシュライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

⚠ 注意

本機の温度（発熱）について
・充電、動画の撮影・再生の最中や、長時間連続で使用した場合、本機の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れているとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。本機を充電器に接続した状態で長時間連続使用する場合には特にご注意ください。
・充電中に本機の温度が一定温度を超えた場合、自動的に充電を停止します。本機の温度が一定温度以下になると自動的に充電を再開します。

音量設定については十分気を付ける
思わぬ大音量により耳に悪影響を及ぼす場合があります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

スピーカーフォンがオンになっているときは、必ず本機を耳から離す
スピーカーフォンは、本機を耳から離しても十分聞こえる音量になっています。耳を近づけていると音量が大きすぎるため、耳に悪影響を及ぼす場合があります。

自動車内で本機を使用したとき、車載電子機器に影響を与える場合は使用しない
車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあり、安全を損なう恐れがあります。

本機にICカード・磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしない
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

お客様の体質や体調によって、かゆみ、かぶれ、湿疹などの異状が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
本体（正面）	ポリカーボネート、ステンレス	―
本体（背面）	アルミニウム	合金塗装
カメラプレート	アルミニウム	合金塗装
電池カバー、USIMカード／メモリカードカバー	ポリカーボネート	塗装
microUSBケーブル	ポリカーボネート、ステンレス、銅	金メッキ
ネジ	鉄	金属メッキ
イヤホンケーブル	ゴム、ステンレス、銅	―
ACアダプタプラグ	ポリカーボネート、ステンレス	―

充電器の取り扱いについて

⚠ 警告

市販の「変圧器」は使用しない
ACアダプタを、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない
感電の原因となります。

タコ足配線はしない
発熱により火災の原因となります。

コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせない
端子に金属を接触させてショートさせたり、指先や手など身体の一部を接触させないでください。火災・故障・感電・傷害の原因となります。

充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしない
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したらACアダプタには触れない
落雷・感電の原因となります。

指定以外の電源、電圧で使用しない
指定範囲外の電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。
ACアダプタ：AC100 ～ 240V

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込む
感電・ショート・火災などの原因となります。

ACアダプタのコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）
直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などでふき取る
火災の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプタのコードの取り扱いについて
・プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。充電器のプラグを持って抜いてください。
・コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
・ACコンセントの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプタのコードの上に重いものをのせない
感電・火災の原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

長期間ご使用にならないときは、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜く
感電やけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、ACアダプタのACプラグをACコンセントから抜いてから行う
感電やけがの原因となることがあります。

医療電気機器の近くでのご使用上の注意

⚠ 警告

「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準じた内容について記載しています。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器をご使用されている場合、機器の装着部から本機を22cm以上離して携行および使用する
本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中などの混雑した場所で、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がある場所では本機の電源を切る
本機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守る
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）の中には、本機を持ち込まない。
・病棟内では本機の電源を切る。
・ロビーや待合室などでも付近で医用電気機器が使用されている場合は、本機の電源を切る。
・医療機関内で、使用および持ち込みなどが禁止されている場所については、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など医療機関以外の場所で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用されている場合は、電波による影響について各医用電気機器のメーカーや販売元に確認する
本機から発せられる電波により、医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

お買い上げ品の確認

お買い上げの際は、次の付属品が揃っていることをお確かめください。

・001HT
・電池パック（HTBAH1）
・ACアダプタ（HTCAG1）
・microUSBケーブル（HTDAF1）
・マイクロフォン付きイヤホン（HTLAF1）
・microSDメモリカード（試供品）
・電池カバー
・クイックスタート
・お願いとご注意

- 本機のオプション品につきましては、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（本書裏表紙）までご連絡ください。
- 本機は、microSDメモリカード／microSDHCメモリカード（以降、メモリカードと記載）を利用できます。お買い上げ時、microSDメモリカード（試供品）は、001HT本体に装着されています。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要になります。

交換機用暗証番号	ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。
発着信規制用暗証番号	ご契約時の4桁の暗証番号で、発着信規制の設定を行う場合に必要な番号です。

※ 発着信規制用暗証番号は変更できます。

注意
- 各暗証番号はお忘れにならないよう、また、他人に知られないようご注意ください。
- 他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 各機能で暗証番号の入力を間違えると間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回間違えたときは、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。

PINコードについて

USIMカードには、PINコード／PIN2コードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないようにメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。
- PINコードは変更できます。
- お買い上げ時、PINコードは「9999」に設定されています。

PINコード	第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。PINコード設定を有効にしている場合は、電源を入れたときにPINコードを入力しないと本機を使用できません。
PIN2コード	オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4 ～ 8桁の暗証番号です。本機ではPIN2コードは変更できません。

■ PINコードを有効にする
1. ［ボタン］ > 設定 > セキュリティ > USIMカードのロック
2. 「USIM カードをロック」にチェックを付ける
3. PINコードを入力 > 「OK」をタップする

ソフトウェアの更新

本機では、ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

- ソフトウェア更新時のデータのダウンロードなどには通信料がかかります。通信料はご契約内容によって異なります。
- 本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。このため、「パケットし放題」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ソフトウェア更新には、約30分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします（一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります）。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障など）により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（本書裏表紙）までご連絡ください。

注意
ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき
電池パックをいったん取り外したあと再度取り付け、電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付（本書裏表紙）にご相談ください。
ご契約の内容によっては、通信料金表示機能が利用できないことがあります。このときは、限度額設定も利用できません。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。
- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
  修理を依頼される場合、お問い合わせ先（本書裏表紙）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意
本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先やフォルダの内容など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合、および電池カバー内のネジを覆っているシールをはがされた場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- 故障または修理の際、MACアドレスが変更になることがありますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（本書裏表紙）までご連絡ください。